



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2017年6月会報 第345号

主 題 ・ 標 語
国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)
主 題: “ Our Future Begins Today ”
「私達の未来は、今日から始まる」
アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao
主 題: “ Respect Y's Movement ”
「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)
主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
“ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”
副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」
Doubling membership through having substantial
Meetings and active service!
六甲部部長 長井 慎吾(西宮)
主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で
更なるクラブ活性化を図ろう」
宝塚クラブ会長 若林 成幸
主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ : 評価・計画

その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、主なる神はアダムを呼ばれた。
「どこにいるのか。」(創世記 3 章 8~9 節)

日 時 : 2017年6月14日(水)18:30
場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間
会 費 : 会員3, 100円、会員外3, 500円

ドライバー 吉田 明 長尾 亘
開会点鐘 若林 成幸会長
ワイズソング 全 員
ゲスト・ビジター紹介 会 長
聖書朗読 福田 肇
祈 禱 若林成幸会長
会長報告 委員会報告

晩 餐 一 同
1 年の総括
各委員長の報告

インフォメーション
YMCAニュース
誕生日記念日

閉会点鐘 若林成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう！	長尾ひろみ(1 日) 若林成幸(3 日) 青柳美知子(5 日)
5 月 実 績	例会出席者数 24 名 在籍会員数 19 名 (功労会員 1) 出席会員数 15 名 出 席 率 78.94% メイクアップ(内数) 3 名 メネット 3 名 コメント・孫メット0名、ゲスト・ビジター6 名 B F ポイント 5 月 4,900 円 累 計 37,262 円 にこにこBOX 5 月 5,000 円 累 計 33,500 円 ファンド (物品販売) 0 円 累 計 69,865 円

5月第1例会報告

宝塚クラブの第1例会はゲストに中江幸一さんをお迎えし、「ペルーの高齢者福祉を経験して」と題し映像を交えながらお話を聞きました。中江さんは



20歳代からの夢であった異文化体験を福祉職の仕事を生かしJICAシニアボランティアとして2010年から2012年クスコの日秘会館のデイサービスセンターに派遣され、日系人高齢者の様々なプログラムをサポートされました。7ヵ月にわたっての準備研修でスペイン語の特訓を受けたのに、派遣先は日本語が通用するリマの日系社会で温かく迎えられスペイン語は上達しなかったとユーモアたっぷりにお話が弾みました。日系移民の歴史や、貧困と繁栄が隣り合わせのペルーの現状を知ることができ、各地を訪問の貴重な体験を報告されました。沖縄からの移民が多く三線が盛んで、中江さんも三線を弾けるようになり大いに交流を楽しまれたようです。この体験で、家族は一緒にいるべきと学び帰国後、7歳で父親を交通事故で失って以来苦労を掛けた母親と退職後は一緒に暮らすために地元に戻りましたが、自立されたお母様の暮らしぶりを見て、故郷は遠きにありて思うものとの意を強くされたようです。2年前ペルーを再訪、大歓迎を受け旧交を温められました。世界遺産のマチュピチやチチカカ湖の映像も楽しく、あっという間にお話が終了してしまいました。

その後、誕生日のお祝い、諸報告に続き、バザーへの協力があり、例会を終了しました。

ドライバー・石田由美子、記録・武田寿子

5月第2例会報告

出席者:若林、吉田、長尾、堀江、谷川、多胡、石田、鯖尻、武田 計9名

日 時:5月17日(水)18時30分～20時30分

場 所:宝塚市西公民館 会議室

議題:

1. 6月例会運営について

- ・YMCA ブランディングについて(7月にせとうちYMCA太田総主事に依頼予定)
- ・6月例会はスペシャルオリンピックスの活動について紹介(武田)
その後当クラブ会員による情報交換をする(本年度の活動評価や次期運営につながる課題発掘や意見交換、評価表を若林会長が作成し事前に会員に送付する。)
本年度活動の評価、EMC、バザー、じゃがいも、市民クリスマスなど
- ・7月に新会員を迎えられるように、2回以上ゲストで来られた方を勧誘する。

2. 西日本区大会時の交流会の進め方の確認

鹿児島6人岩国5人宝塚8人でフェローシップアワーに場所を予約交流する。お土産はマリアンジュさんで手配、送付する。

3. バザー運営について

多胡委員長から別紙を用いてバザーの準備状況の報告、23日クッキー焼き、25、26日準備スケジュール、場所、注意事項、担当者、商品の運搬や、当日の配置など確認した。また焼きそばの材料などの購入についても担当を決めた。賞品は昨年並みにありそうだが蚤の市用の物品が少なめなのでさらに協力を仰ぐが、集まった範囲で楽しくバザーを行う。

4. ブリテン編集

原稿締め切り日 5 月 29 日、第一校正、5 月 29
ー30 日、第二校正日 6 月 1 日

原稿依頼 5 月例会、第 2 例会、武田、会長の
言葉、若林会長

・クラブ訪問、

神戸西クラブ、神戸学園都市クラブ

・バザー

大阪なかのしまクラブファミリーコンサート 鯖尻

・YMCAニュース、谷川

来期西日本区アピールコーナー 石田

5. その他、

次年度の会長、主査の来期計画につ

いて意見交換し、30 周年は 3 月を記念例会にし
て内輪で祝う。来期西日本区大会にエネルギー
を結集する。スペシャルへの協賛金は 1 万円、武
田に依頼する。

5 月例会出席者数 計 24 名、

出席会員数 12 名、メイクアップ 3 名 メネット 3 名、
ゲスト 6 名

BF ポイント 5 月 4900 円累計 37262 円、

ニコニコ Box 5000 円、累計 33,500 円

6. 6 月例会担当

ドライバー長尾、吉田

聖書朗読 福田(肇)、

祈祷 若林会長

書記 武田寿子

会長からひとこと

第 30 回チャリティーバザーが 5 月 27 日(土)
行われました。バザー委員諸氏の周到準備を基
メン・メネット・リーダーで編成のスタッフ 40 数名
来客を待ちました。

天気割に人出は少な目だったようですが、会場
は十分に賑わい、初期の目標はクリアできたよう
に思われます。市内でも有名を馳せた福祉目的の
バザーが中止となり、バザーへの関心が薄れつつ

ある世の変遷を思わざるを得ませんが、30 年にわ
たって継続し続けた我がクラブの情熱は凄いです。フ
ァンドとして得られた財貨は有効に活かされること
でしょう。ただただ皆様に感謝。

西日本区大会を経て、6 月末で会長職は次にバ
トタッチ致します。会長方針「限らない戦で新たな
気風を呼び込もう」を読み直し、諸活動の成果を反
芻しているところです。

6 月第 1 例会は諸活動の評価がテーマ。皆様から
忌憚のないご意見を承り、明日の活動に繋げたい
と思います。

若林成幸

IBC: GIVE CLUB
(Denmark) 訪問

風薫る 5 月 18 日～22 日の 4 泊 5 日、IBCである
Give Club を訪問する機会が与えられた。前もつ
て、Bijarn より要望を聞かれていたので、遠慮なし
に意向を伝えておいた。

1988 年の京都国際大会で初めて Ravn さん達にお
目にかかり、1994 年シンガポール国際大会で IBC
締結式が行われ、折しも YMCA 創立 150 周年の
London Westminster Abby での式典参加後、初め
て Give Club を訪問した。

様々な職種の方々、わがクラブの会員とほぼ同
年齢、会員数、etc. が似通っていたのか、その後
も相互の交流が深まり、お互いのクラブ訪問、そし
て様々な国での国際大会で頻繁にお会いする機
会があった。

Geneve/Amsterdam/Billund と飛ぶ予定であつた
が Flight が大幅に遅れて、1.5 時間遅れの到着と
なったが、食卓にはデンマークの典型的な色鮮や
かなスモークロー、チーズ、果実、デザート等が振
る舞われ、再会を共に喜び合った。

IBC 締結当時、共に会長をしていた Svend はホテ
ルのような施設に入居。こちらからの
話しかけには理解をされておられるが、彼からの発
話、そして歩行は無理な状態であつた。

最高齢の Finn(90) & Bodil(88) 夫妻も施設に入居され Bodil の視力の低下があるものの、できる限りの機器を駆使され元気に活躍。数冊のアルバムを取り出し昔話に花が咲いた。

Mikelsen 宅では 50 代の若き女性と彼氏が参加され、Y's 活動以外の質問(Ex. 21 歳の息子が軍隊に入りたいと言っている。統率力が抜群でそれが将来の仕事に役に立つのでは(?)とか、日本での若者の結婚観はどのようなものか?)等が鉄砲玉のように飛んできた。また mini-Y's 例会では 15 名の方々と懐かしい再会の時間を過ごした。



エクスカッションには最古の交易都市 Ribe, 満潮時にはの住民 35 名の離島(Mando)の散策、海浜生物、鳥類を中心とした最新の博物館、Aarhus 近郊の川でのクルージング、Den Gamle By(江戸村といった野外博物館)等、二台の車で小学生の遠足の如く自前のお弁当に舌鼓しつつ、時間の経つのも忘れるほどであった。

Y's 活動以外にも、イランやアフガニスタン等よりの難民救助活動(デンマーク語、生活の指導、娯楽への誘い、等)にも積極的に取り込んでおられる姿には頭が下がる思いがした。

短くも且つ内容の充実した訪問に身も心も幸せを感じ、彼らの快い歓迎に感謝しつつ、菜の花の黄色の絨毯、新緑の麦畑の絨毯の広がる静かで落ち着いた Give の町に、そしてお互いに年を重ねつつも彼らの健康と更なる再会を祈りつつ、別れを告げた。

福田 宏子

他クラブ訪問

神戸西クラブ 5 月例会

5 月 18 日(木)午後 7 時から、新長田「細田地域福祉センター」会議室で公開例会が行われた。阪神淡路大震災で最も被害が大きかった一帯は、小規模な工場がひしめいていたところだったが、区画整理が進められ、マンション化され、何となく閑散とした地域になっていた。会場いっぱい約 30 名のワイズ・ゲストが詰めかけておられた。「キリシタン遺物とヘボン&ブラウン共同翻訳聖書」と題して展示とスピーチがあった。講師は、元日本キリスト教会神戸湊西教会の田中 豁牧師、88 才。

フランシスコ・ザビエルから始まった日本の宣教の歴史を「キリシタン遺物」から考察し、キリスト教禁制下で出版された「ヘボン&ブラウン共訳聖書」(マルコ伝・ヨハネ伝・マタイ伝)にまつわる貴重なエピソードを聴かせて貰った。遠藤周作「沈黙」を映画化した「サイレンス」を鑑賞した後だったので、「踏み絵版」「共訳の聖書」等に魅せられ豊かなひとときとなった。熊本のジェーンズ記念館には氏が寄贈された聖書 1 冊が展示されているという。しかし、ジェーンズ記念館は 2016 年熊本地震により倒壊してしまった。明治維新の精神文化を示す貴重な文化遺産が一刻も早く再建・展示されることを望んでいる。

若林 成幸

神戸学園都市ワイズメンズクラブ 5 月例会報告

去年 9 月例会に引き続きウェルネス会員、近隣の方をお誘いし恒例となりつつあるオープン例会 2 回目です。

会長始めメンバーのご要望で前回と同じく「フラを通して学ぶアロハスピリット」と言うタイトルで、ハワイやフラ

の歴史に親しんで貰おうとの目的で企画されたものです。40



名近い出席がありました。

関学フラガール「マハロ」から 3 名参加して若さと元気で出席者を楽しませてくれました。出席された方からは「とてもよかった」とのコメントを幾つか頂いたようです。

宝塚ワイズメンズクラブはユース支援の 1 つとして彼女たちにフラ指導をしている、と説明をしました。ワイズメンズクラブの活動、又、フラの紹介の機会を与えられて感謝です。

石田由美子

ファミリーコンサート訪問

5月20日(土)大阪YMCA会館2階ホールにて開催された大阪なかのしまクラブ主催のファミリーコンサートに行ってきました。第一部はオペラ「椿姫」より乾杯の歌から始まり楽器の紹介やみんなでおもちゃのチャチャチャや幸せなら手を叩こうなどを歌いました。また子供たちの中に入ってヴァイオリンで「愛の挨拶」を弾かれて子供たちが間近に見

るヴァイオリンの音色に興味深く聴いていたのが印象的でした。第二部ではチゴイネルワイゼンからディズニーメドレーを大人から子供まで楽しく聞ける曲が多く会場がアットホームな雰囲気になりました。野ばらをドイツ語で歌ったり、みんなでふるさとを歌いファミリーで楽しめるとっても素敵なコンサートでした。新年ウィーンで毎年ラデツキ行進曲を手拍子をしてしながら聴くという体験も出来てとても楽しく過ごすことが出来ました。またコンサート後は他のクラブの方々とも楽しい交流が出来ました。



鯖尻 佳子

【今月のみ言葉】

創世記 3 章のいわゆる「失楽園の物語」によると、神によって創造されたアダムとエバは、当初エデンの園に住み、園に生えるあらゆる木の実を食物として与えられていました。しかし、その一方で彼らには、園の中央に生えている善悪の知識の木の果実だけは食べてはならないと戒めが与えられていました。

ところが、蛇に誘惑されたアダムとエバは、神の戒めを破ってその禁断の木の実を食べてしまいます。そして彼らは、園の中を歩く神の足音が聞こえると、自分たちの罪の発覚を恐れ、神の顔を避けて園の木々の間に隠れようとするのです。それに対して神は、アダムに「どこにいるのか」と呼びかけてきます。

この「どこにいるのか」という神の問いかけは、文字通りにアダムの居場所を尋ねる問いであったようには思えません。というのも、全知全能の神は、このとき彼らがどこに隠れていたか、それくらいのことは当然お見通しであった

と考えられるからです。むしろこの「どこにいるのか」という問いは、神との関係におけるアダムの心の所在を問うており、アダムの背信行為、ひいては人類全体の罪に対する神の悲痛な叫びであるように思われます。

私たちも時として不幸に見舞われるとき、「神はどこにおられるのだ」、「神などいないのではないか」と不信の声をあげるかもしれません。しかし、神はいつも私たちのすぐそばにおられ、日々私たちに「あなたはどこにいるのか」と呼びかけておられるのです。

嶺重 淑

YMCA だより



この 5 月には、神戸 YMCA 創立記念日礼拝（131 周年）、神戸 YMCA 三宮会館竣工記念式典、また今年は神戸開港 150 年記念の神戸まつりや神戸・シアトル姉妹都市提携 60 周年ということもあり、神戸 YMCA にも国内外より多数のゲストをお招きして、新たな歩みを祝っていただいたり、つながりを再確認することができたりと、うれしい時間を過ごせました。

また YMCA のそれぞれの場には、新たなボランティアリーダーを迎えて、それぞれに話し合いやトレーニングを行っています。神戸 YMCA 全体でも 5 月 14 日にユースリーダー委嘱式が行われました。委嘱式にあわせて、研修会も行われましたが、今年は市民社会とは、ということテーマに学びを深めました。

今、YMCA は野外活動やキャンプ、幼児期から成人や高齢者のウェルネス活動、国際交流や国内外の支援活動、専門学校や通信制や単位制の高校などの高等教育から、幼稚園・保育園など

の幼児教育、また障がい児・者支援や教育など多岐にわたる活動を行っています。ワイズの方々にはその断片の活動を紹介することにとどまっていますが、それぞれの活動の目的は、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神に学びつつよりよい未来を創るための活動です。

聖書には「富は、天に積みなさい」と書かれています。YMCA の活動を通して、子どもたちが、ボランティアが、地域がよりよく成長し変わっていく中で、平和の実現がなされるよう歩んでいくことが何より肝要であることを感じた時期となりました。

1) 神戸 YMCA 定期総会

神戸 YMCA の 1 年間の歩みを振り返り、新年度の方針・計画を共有させていただく機会を毎年持っていますが、今年度は 6 月の開催とさせていただきます。神戸 YMCA の総会構成員の皆様にはぜひ出席いただくようお願いのご案内をしています。また総会構成員以外の方も、神戸 YMCA の歩みを列席して一緒に感じていただければと思います。何卒よろしくお願い致します。

日 時：6 月 30 日（金）18：30～

場 所：神戸 YMCA 三宮会館チャペル

第 21 回西日本区大会
実行委員会コーナー



今回は前夜祭についての報告です。
5月15日(月)、18時30分に北野坂にある「北野ガーデン」に集合し、前夜祭会場を下見しました。三宮から徒歩15分、昔ながらの神戸らしい景色を楽しみながら北野坂を上がると小さな森の様な一角にある素敵なレストランです。
<http://www.kitano-garden.com/restaurant/>
総支配人のご案内で館内を見せて頂き、前夜祭当日を想定しながら数々の質問をした後、その日のハイライト、フレンチのコース料理を試食しました。大野勉次期理事始め8名の実行委員会メンバー全員が、味、プレゼンテーション、サービスなど高い点数で満場一致の最終決定になりました。最大80名までと言う問題はみんなで知恵を絞って考える様にと、大野先生からの宿題です！



実行委員長 石田由美子



第 30 回 バザーを終え

今年も「明るく、楽しく、元気よく」と一同心を合わせ 3 月頃から取り組み準備してきたバザーが 27 日に開催された。バザー日和に恵まれた一日。

9 時に全員集合、リーダーたちの元気な掛け声のもと、会場の準備がスムーズに整い、11 時の開会合図で始まった。蚤の市は待ちかねたお客さん達



で賑わい机の上の商品がみるみるうちに減っていった。

この間に FM 宝塚からの取材を受けリーダー達、各売り場の方々、お客さん方にインタビューの内容が 11 時からの生放送として FM 宝塚からながれた。

「今日は」「頑張っているね」などと知り合いの方々が応援に来てくださり、商品を買上げ、食べて、雑談をして賑やかな交流の場にもなった会場。



そしてあっという間に 14 時の終了時間を迎えた。

バザーが盛況のうちに開催できたのも会員一人一人のご協力、YMCA のスタッフ、リーダーたちの元気な働き、そして応援の方々の献身的なお働きによるものと感謝します。

そして快く会場を提供くださったカルチェヌーボ商店街の方々にも深く感謝します。



バザー委員長 多胡葉子

そして手作りクッキーとマリ〜アンジュさん提供のアイスクリームの販売。



入り口付近の食べ物コーナーでは「今年初めてです」と焼きそばに挑戦のリーダーたち、



アトラクションコーナーではリーダーたちが子ども達相手にゲームで賑わい、可愛い笑い、歓声が響く。



13 時からはこのバザーのメインアトラクションの「お楽しみラッキー抽選会」

今年も多くの協賛企業のご協力により、魅力のある賞品の数々があつまり、当選番号が呼ばれる度に歓声があがり、賑やかな楽しい抽選時間が流れた。

